

事業実施に至る経緯

平成21年3月に西落合ことぶき館が廃止されることが平成17年に決まり、その後の施設活用策を検討するため、プロジェクトチームを発足しました。

平成18年に公募による区民約20名が毎月1回のワークショップを開催し、「三世代交流事業の意義・方針」「落合地区における事業のあり方」「運営方法」「組織づくり」等について、約3年間検討を行いました。

また、平成19年から2年間、事業開始後の運営に向け、サロン活動をモデル的に実施し、平成21年4月から「落合三世代交流サロン」がスタートしました。

【落合三世代交流事業が開始されるまでの経緯】

【区】

三世代交流による子育て支援等のシンポジウム
ワークショップ参加者の意識の共有を図る

ワークショップ
平成18年4月から月1～2回
(年10回位)実施
約1年間で事業案をまとめる。

事業案発表

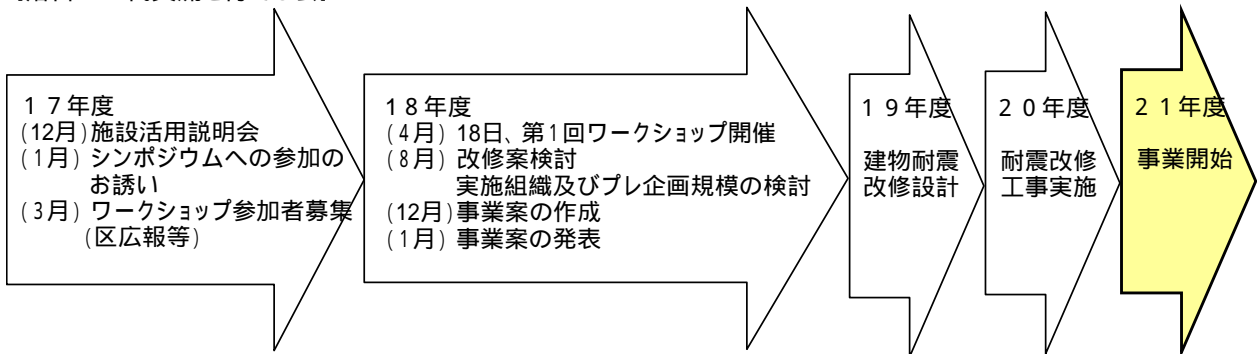
区の審査

実施の組織づくり

準備
ブレ企画
人材確保
研修

事業委託開始

【落合三世代交流を育てる会】



事業目的

“地域で子どもを真ん中に、世代を越えて集い交流し、地域の井戸端として活用する”

子どもを中心に親・中高年・高齢者の各世代がそれぞれの役割を担いながら交流できる場を作る。

地域の中で、誰もが気軽に立ち寄れる多世代交流の拠点を旨す。

事業方針

落合地域で地域活動をしている方、児童館などの利用者、子育て中の親など、多様な立場が参加し運営を担う場

地域の茶の間として、集い活用できるように、顔が見えるサロンのような場づくりを地域住民たちの手で進める

活動案内のチラシ等を町会・自治会などの協力を得て配布